

	現状報告と意見交換
代表発表者氏名	小河 周平
共同発表者	
発表タイトル	支援者を支えるテレ・リハビリテーションの可能性と展望
研究概要	<p>今回の発表では、特例子会社で働く支援者を対象にテレ・リハビリテーションに関する講義を実施し、その中で得られた支援現場における課題やニーズを共有することを目的とする。</p> <p>特例子会社での講義では、テレ・リハビリテーションの具体的な活用方法に加え、支援者支援の意義について解説を行った。また、参加者との意見交換を通じて、支援者が現場で直面している困難や支援上の課題について理解を深めた。さらに、講義後にはアンケートを実施し、支援者が感じている負担感やテレ・リハビリテーションに対する期待・関心など、より具体的な声を収集した。</p> <p>近年、リモート環境下で健康支援等、ICTの活用が注目されているが、障害のある方を支援している支援者に焦点を当てた支援体制は、いまだ十分に確立されていない。実際の現場では、支援者が孤立感や心理的負担を抱えることも多く、支援者を支える仕組みの構築が求められている。</p>
キーワード	テレ・リハビリテーション、多職種連携、当事者中心、支援者支援、オンラインリハビリテーション
その他	<p>現在、当事者の方々をはじめ、多職種・多領域の皆さまと幅広く交流を重ねながら、テレ・リハビリテーションの実践および研究に取り組んでおります。今後はこうした実践や研究をご一緒いただける仲間をさらに増やしていきたいと考えております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>